

令和8年8月24日

保護者の皆様

平素は本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
第2学期の開始を迎えるにあたり、県教育委員会を通じて文部科学省から、
添付のメッセージが届きましたのでご一読いただければと存じます。

なお、詳細についてはライデンメールにてご案内しておりますので、ご確認
いただければと存じます。

また、参考動画と参考資料を掲示していますので、必要な場合にはご相談く
ださい。

本校では、安全・安心な学校運営に向けて引き続き取り組んで参りますので、
今後ともよろしくお願い申し上げます。

【参考動画】

- ・夏休みが終わってほしくない時に見る動画（政府広報オンライン）



【参考資料】

- ・ひょうごっ子悩み相談

電話相談：0120-0-78310 《24 時間》

電話相談：0120-783-111 《平日9:00～17:00 年末年始除く》

- ・ひょうごっ子 SNS 悩み相談

〔相談期間〕 通年（365 日）

〔相談時間〕 17：00～21：00（相談受付は20：30 まで）



LINE



Web

保護者や学校関係者等のみなさまへ

今、子供たちの自殺は、極めて深刻な状況にあります。そして、特に長期休業明けの前後には、子供の自殺者数が増加する傾向にあります。

子供たちの自殺を未然に防ぐには、保護者や学校関係者をはじめ、子供たちと身近に接しているみなさまに、子供たちの態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただくことが、大変重要だと考えております。

- ・これまで関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・物事に集中できなくなる
- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える
- ・友人との交際をやめて、引きこもりがちになる

といったようなサインが見られたら、いつも以上に子供に寄り添い、注意深く見守って、子供の思いを受け止めていただきたく存じます。

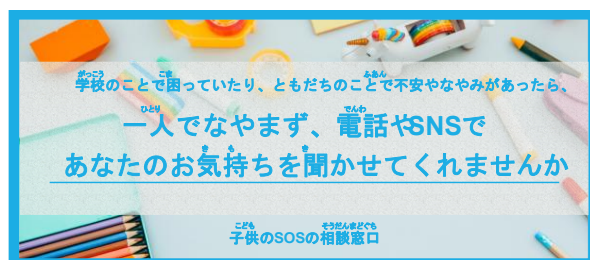
一人一人の働きかけが、悩みや不安を和らげるとともに、日頃の温かいコミュニケーションによって、何か困ったときに相談できる子供たちとの信頼関係づくりにつながります。各種相談窓口もありますので、ご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

そして、学校関係者のみなさまにおかれましては、不安や悩みを抱える子供たちが孤立することのないよう、学校、家庭、地域、福祉部局、警察、医療機関などの関係機関で緊密に連携し、地域全体で支援していただきますようお願いいたします。

文部科学大臣としても、子供たちが安心して学ぶことができるよう、皆様と共に、取り組んでまいります。

電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和8年8月

文部科学大臣 松本 洋平